

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日	2021年3月31日	事業所名	放課後等デイサービスすみれ
-----	------------	------	---------------

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			安全性の配慮し、児童の年齢や特性に合わせスペースを活用している。	
	2	職員の配置数は適切である	○			人員配置基準に沿って配置している。	送迎時などは職員が手薄になるため、送迎担当職員が増えるように努める。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			○		借家を活用しているため、バリアフリー化は出来ていない。今後は段差解消や手すりの設置を検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			担当者会議や年1回のアンケートで意向等を確認している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート集計後には、クラス会議で議題に挙げ、改善点を確認し改善につなげるようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○			第三者による外部評価を立ち上げていない。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			会社全体で研修期間が設けられ、定期的に研修や勉強会を実施している、	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			クラス会議で活動内容を検討したり、他事業所との情報交換を参考にしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援内容や活動のすすめ方など、児童が来所される前にミーティングを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			毎日の様子（情緒面や人との関わりなど）を週案へ記録として残し、モニタリングに繋げている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			児童によっては必要に応じて情報交換会を設け、児童の支援についてや連絡事項などの確認など行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			ご家族を通して、支援内容などの伝達事項を確認している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			今後は利用者様の病院同行や保健師との繋がりをもち専門機関との連携を行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		新型コロナウイルス感染防止対策として、今年度の企画は出来ていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			保護者様からの相談には随時対応しているが、保護者に向けた情報提供や支援の助言等は出来ていないため、今後取り入れていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時や必要に応じてその都度、ご説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		新型コロナウイルス感染防止対策として、今年度の保護者会は実施出来ていない。毎年秋ごろに実施予定である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情については、全体で話し合いの場を設け、改善点を確認している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				二か月に1回通信を作成し、保護者様に配布し、活動の様子等を発信しております。
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			必要に応じて絵カードや写真カードを用いている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			新型コロナウイルス感染防止対策として、今年度の企画は出来ていない。（夏まつりを地域の方にも声をかけ実施している）

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			職員や保護者の方に周知が徹底出来ていないため、通信や日頃行っている対策・避難訓練等、伝えていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的に避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットがあったときは、報告書に記入し、全体で周知し、注意喚起を行っている。	